

ショートコース実行委員長ご挨拶

謹啓

日本薬物動態学会第40回年会の初日となる2025年10月20日(月)に、日本薬物動態学会第17回ショートコース(SC)を京都市勧業館「みやこめっせ」にて開催いたします。本会開催にあたりましては、年会長である京都大学 山下富義先生とも連携を深めながら運営・内容を企画いたします。

近年のライフサイエンス分野の技術革新に伴い、多様なモダリティの進展のみならずデジタル技術の飛躍もあり、創薬の多様化に伴い研究開発の取り組み方に変革が求められています。医薬品開発においても、迅速かつ成功確度を高めるためには、創薬初期から市販後までの創薬開発ステージ全般に携わる薬物動態研究者が多様化に対応し、薬物動態の予測に基づいた有効性と安全性の臨床予測確度を向上させる必要が求められています。

このような背景をふまえ、2025年SCのタイトルを「創薬開発を推進する薬物動態研究の展望」としました。本SCでは、国際的コンソーシアムであるThe International Consortium for Innovation and Quality in Pharmaceutical Development (IQ Consortium) と共催し、幅広い薬物動態研究の中から、ヒトにおける薬物動態や有効性の予測、及びその予測に必要なModeling & Simulationやバイオマーカーに関連する話題を中心とした演題を取り上げます。これらのトピックスを通じて、創薬開発の現場での課題や利活用についての最新の知見を共有し、創薬現場における薬物動態研究の変革ソリューションをより追求する機会となり、また、参加者の皆様がそれぞれの現場で活用できるビジネスチャンスに繋がる機会となるべく尽力する所存でございます。

本SCへお一人でも多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

2024年11月吉日

日本薬物動態学会第17回ショートコース

実行委員長 坂本 真吾

(塩野義製薬株式会社 創薬研究本部 創薬開発研究所)